

筑波大学新聞

第307号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

- 漢類 仙台市に実験施設完成 2
- 芸術祭 つくばの春を彩る 3
- 体罰問題 東日本セブンズ2連覇 9
- ラグビー 福島県からの避難民と交流 10
- つくしま 子供たちが夢のお仕事体験 11
- 職業体験
- ◆◆特集 5
- 教育現場を支える 教科書作成特集
- ◆◆特集 6,7
- 自転車の海つくば 自転車・バイク登録制度を見る

砂漠の植物研究

糖尿病やがんの効果



上=薬用植物の調査を行う磯田教授(左から2番目)
下=植物を採取する様子(いずれもチュニジア)

化粧品の開発も視野に

北アフリカに育つ植物に高濃度で含まれる薬効成分を調べてきた磯田博子教授(生環系・北アフリカ研究センター長)らの研究が大きな進展を見せている。これまで現地で採取した植物約250種から生活習慣病や神経疾患などに薬効のある成分を見つけた他、現地の植物約840種の情報からデータベースも開発した。同教授はこれらを使い、数年後をめどに、薬品や機能性食品、化粧品などの商品化を目指している。(望月麗二比較文化学類2年)

同教授によると、植物は同じ種類でも砂漠などの厳しい環境で育った場合、通常の環境下と比べて自らを守るための成分をより多く含む傾向がある。北アフリカの場合、地中海沿岸の年間降水量は1000ミリだが、約1000キロ南下したサハラ砂漠付近では10ミリと非常に厳しい環境。これに注目した同教授らは2002年以来、チュニジアやモロッコなどで植物のサンプルを採取。その成分を分析してきた。

その結果、サハラ砂漠付近で採取した植物のサンプルは、地中海沿岸で採取した同種のものに比べて、病気の治療や予防に有効な成分を多く含むことを発見した。例えば抗酸化物質の場合、ローズマリーでは3

5倍、オリーブでは10倍も砂漠付近で採取したものの方が含有率が高かった。また同教授は、老化防止などについて「薬効があった。将来、研究を生かして現地でベンチャー企業などを立ち上げることができれば、地域の活性化にもつながる」と抱負を語っている。

◆抗酸化物質は生物がストレスを受けるがストレスを受けると「活性酸素」が発生し、老化の他、糖尿病やがん、動脈硬化などの原因となるが、抗酸化物質にはこの活性酸素を除去するなどの効果が期待される。ローズマリーに含まれるポリフェノール類が知られている。

海外高校で直接勧誘

留学生3倍に

海外から優秀な人材を集めるため、本学教職員がアジアなどの高校に直接出向いて行う「出張説明会」の成果が上がりつつある。説明会では、高校生が現地高校を卒業後、本学に留学し、英語の授業だけで学士号が取得できるプログラムを紹介。同プログラムでの入学者は実施開始の2010年は20人だったが、本年度には71人と3倍以上増加し、実施以来計156人になった。担当の留学生センターでは「今後も魅力的な説明会を行い、海外高校からの直接入学者を増やしていきたい」と話している。(平嶋健人社会学類2年)

今、国際学群、生命環境学群、医療科学類にある。この中で、各大学は各国の大学生への勧誘を行う一方、高校生への勧誘も開始。本学では、3学群・学類の教職員数人が独自に現地高校を訪問し、説明を行っている。

生命環境学群担当の野村名司男准教授(生環系)によると、同学群の場合、09年以降、中国、アメリカ、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、シンガポールなどを中心に約40校を訪問。現地で本学と交換

留学の協定などを結ぶ大学(協定校)の付属高校が中心で、毎回20〜200人の高校生が対象となる。同准教授によると、説明会では▽都心に比べ生活費が安い▽イスラム教徒向けのメニューが利用できる……などの本学で学ぶメリットを紹介。つくば市に

いる留学生と現地在テレビ電話でつなぎ、高校生らに質問させるなど、留学への不安を取り除く工夫もしているという。

また東南アジアではアニメなど日本文化への関心が高まっており、高校生には「日本の技術を習得したい」などの他、「日本の漫画が好きで、日本語や日本文化を学びたい」などと語る留学希望者も多い。来日経験のある両親が子どもに「治安が良い」ことなどを理由に留学を勧めるケースもあるという。

筑波キャンパスは、大学の単一キャンパスとしては国内第2位の広さを誇り、そのため自転車は生活に欠かせない。だがその結果、学内では所狭しと大量の自転車が並べられ、時には点字ブロックや駐輪禁止の場所に止めてあることも。その状況を改善するために学生生活課などがICタグを用いた「自転車・バイク登録制度」を10月から実施する。その全容に迫る。(6、7面に関連特集)

「新TWINs」経由で成績証明書を申請した学生らに、本来なら記載されないはずのGPA数値付きの証明書が多数発行されていたことが、教員や学生への取材で分かった。システム運用開始に伴う不具合だが、学群4年生の一部はこの証明書を書き換え活動などで企業に送付。事実上、このシステムは、企業などからそれらを回収したという。新システムの運用開始では、証明書の自動発行の不具合も出ている。(平嶋健人社会学類2年、3面に関連記事)

成績証明書 GPA 誤記載

大学が企業から回収

複数の学生や大学関係者によると、誤った成績証明書が発行された学生は58人で220枚が発行され、そのうち28枚が使用されている。GPA(Grade Point Average)制度は、成績の平均を数値化するもので、今年度

の新入生から適用されるが、2年生以上の学生の成績評価には反映されない。また新TWINsの始動に伴い、学生証を自動発行機のICカードリーダーにかざすことで各種の証明書を発行するシステムが採用されたが、これが機能しないトラブルも起こった。教育推進課はこれらの問題が、新TWINsの始動に関する混乱であると説明。そのうえで、①GPA数値付きの証明書を発行したケースでは、GPA実施に向けたテストのデータが新TWINsに残ってしまっている、そのまま記載された②証明書発行ができない問題に関して、カードリーダーの読み込み範囲が想定より狭かった……と説明。「現在はこれらの不具合を修正しており、混乱は起きていない」としている。



自転車問題

解決なるか

「検証 自転車の海つくば」

大学が企業から回収

「新TWINs」経由で成績証明書を申請した学生らに、本来なら記載されないはずのGPA数値付きの証明書が多数発行されていたことが、教員や学生への取材で分かった。システム運用開始に伴う不具合だが、学群4年生の一部はこの証明書を書き換え活動などで企業に送付。事実上、このシステムは、企業などからそれらを回収したという。新システムの運用開始では、証明書の自動発行の不具合も出ている。(平嶋健人社会学類2年、3面に関連記事)

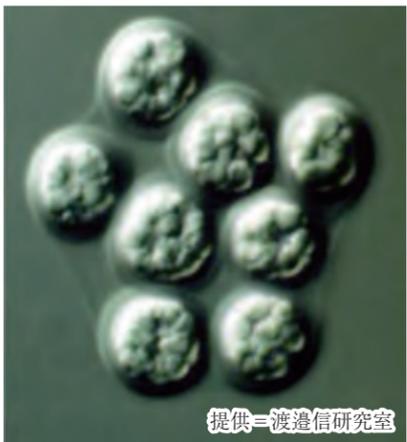
複数の学生や大学関係者によると、誤った成績証明書が発行された学生は58人で220枚が発行され、そのうち28枚が使用されている。GPA(Grade Point Average)制度は、成績の平均を数値化するもので、今年度

の新入生から適用されるが、2年生以上の学生の成績評価には反映されない。また新TWINsの始動に伴い、学生証を自動発行機のICカードリーダーにかざすことで各種の証明書を発行するシステムが採用されたが、これが機能しないトラブルも起こった。教育推進課はこれらの問題が、新TWINsの始動に関する混乱であると説明。そのうえで、①GPA数値付きの証明書を発行したケースでは、GPA実施に向けたテストのデータが新TWINsに残ってしまっている、そのまま記載された②証明書発行ができない問題に関して、カードリーダーの読み込み範囲が想定より狭かった……と説明。「現在はこれらの不具合を修正しており、混乱は起きていない」としている。

大学ラグビーの早稲田・明治戦を何度か観戦したことがある。そこではいつも、スタンドを埋める多くの在学生在やOBOGが大声援を送っていた。その光景をいつもうらやましく見ていた。本学の試合では観客がともなわなかったからだ。▼本学は縦のつながりが弱いとよく言われる。学内でも先輩との交流は少ないような気がする。まして、OBOGと接する機会はない。OBOGがOBOGもいる▼今年1月、本学が出場したラグビー大学選手権の決勝。国立競技場には多くのOBOGが応援に駆けつけ、用意された応援旗は全て無くなった。試合では、在学生とOBOGから自然と湧き起こった「筑波コール」が何度か競技場に響いた。きっかけがあれば人は集まるのだ▼今、「筑波大学校友会」の会員サイトを使い、在学生とOBOGの交流を促進する活動がある。これが進めば、OBOGは在学生の動きを通じて、世界中どこにいてもリアルタイムに本学の動きを知ることができるようになる。つくばにはなくても、在学生とOBOGが簡単につながることがある▼校友会が本学とOBOGをつなぐ架け橋となることを願う。今年の大学ラグビー戦でも「筑波コール」は巻き起こるだろうか。

油を生む藻類

仙台市に実験施設完成



提供=渡邊信研究室

施設で培養するオーランチオキトリウム

本学が東北大、宮城県仙台市と共同で進める「油を生み出す藻類」の研究のため...

を原料に油を作り出す他のバイオマスエネルギーに比べ、栽培面積あたりの油の生産量が非常に多い...

同じ成分の油を作ることができ、実用化に向けて研究が進められている。

今回の実験施設が建てられた場所は、下水処理施設の中。通常、下水を処理する過程では有機物を含んだ汚泥と窒素やリンなどの無機物が発生し、それらは処分される。

しかしこの実験施設で培養される藻類は、養分としてそれらを吸収するため、処分の必要がなくなる。また、藻類が作り出した油は仙台市に燃料として提供するなど、研究の成果が復興に役立てられる。

今後は施設を屋外まで広げ、平成28年度をめどに実証研究を行う。プロジェクトリーダーの鈴木石根教授(生環系)は「下水から作られた燃料を市内で使えば、エネルギーの

震災復興につながる

「地産地消」になる。成果を出して『仙台モデル』として広めていきたい」と話した。

筑波山地域ジオパーク推進協議会

「西の富士、東の筑波」として富士山と並び称される筑波山。同協議会の活動に携わる久田健一郎教授(生環系)によれば、筑波山は、山頂付近やふもとなど場所によって岩石の種類が異なっているため、富士山と同じように山裾がさまざまな美しい形をしているのだという。

附属病院に助産施設 市と共同で寄附講座も

本学とつくば市は、3月29日、市内の助産に関する医療体制を整備する目的で、本学で寄附講座を開講する協定を締結した。講座の開催に伴い、本学附属病院内に、医師の立ち会いの下で助産師が助産に対応する院内助産システム「つくば市と共同で寄附講座も」

協定締結の背景には、市内の地域医療体制の整備が遅れがある。つくば市の2010年度の出生届出件数は2210人で、市内で出産したのは1339人。市外で出産した871人のうち半数近い406人が、

市内の医療機関で予約が取れなかったことなどを理由に挙げた。これまで、同附属病院では主にリスクの伴う出産に対応してきたが、バスセンターでは通常の出産を積極的に受け入れる。これによって、より多くの妊婦が市内で出産できるようになる。

市内の医療機関で予約が取れなかったことなどを理由に挙げた。これまで、同附属病院では主にリスクの伴う出産に対応してきたが、バスセンターでは通常の出産を積極的に受け入れる。これによって、より多くの妊婦が市内で出産できるようになる。

バスセンターは、同附属病院の新棟「けやき棟」内に開設されており、病床数は6。市の援助を受けて数年以内に建築される予定のバスセンター専用棟では、12に増床される。

専用棟の完成後は年間300〜400人の受け入れが可能となり、予約が取れない状況は改善される見込みだ。

計報 木下 明氏(きのした・あきら)本学名誉教授、4月26日死去、91歳。1908年本学退職、名誉教授。



武井宏子さん

「死を覚悟」筆を進める 生命力にあふれた絵を展示

死を覚悟しながらも絵筆を離さず、素晴らしい作品を描き続けた故・武井宏子さん(武井隆道教授の妻)の遺作展が4月、つくば市民ギャラリー(つくば市吾妻)で行われた。昨年9月、がんが54歳で亡くなるまでに描いた花々は、幻想的ながら生命力にあ



武井さんが生前に描いた作品

たのは2008年8月。50歳の誕生日だった。その後、転移が判明したが、宏子さんは取り乱すこともなく、淡々と闘病生活を送った。そんな中、宏子さんが出会ったのが絵画。「全くの素人」(武井教授)だったが、つくば市のアートスクールに通い始め、死の2年前から本格的に描き始めた。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。

制作総数は約30点で、中には1〜4点のものも。昨年4月に一部作品の展覧会を行った他、今回は約10点が展示された。武井教授は妻はかんと分かっていても、沈むことなく、8回の手術を経験しながらも、その日その日を最後まで生き抜いたと思う。強い人間で、尊敬している」と話している。



ハッピー体操を行う人々

担当。歌詞は市民から募集したオリジナルのもので、ジャンプなどの動きを取り入れた「子供編」の3種類がある。それぞれの体操は、腕回しや足踏みなど健康に良いとされる8つの動きが組み合わされており、中にはつま先で「JOSO(常総)」の文字を書くユニークな動きもある。

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

「ハッピー体操」開発 介護予防につながる

本学と常総市などが連携

茨城県常総市が本学と東洋大、筑波大の研究チームと連携し、健康増進を目的とした独自の体操「ハッピー体操」を考案した。今後、市内外の老人クラブや学校、幼稚園、保育園などへの普及を目指す。

「常総の大地ののり」など常総市に関連した言葉も含まれている。

体操の考案に携わった安梅勲江教授(医学医療系)は「体操で体力を維持するのはもとより、楽しみながら身体を動かすことで、認知症などの予防にもつながる」と話した。

担当。歌詞は市民から募集したオリジナルのもので、ジャンプなどの動きを取り入れた「子供編」の3種類がある。それぞれの体操は、腕回しや足踏みなど健康に良いとされる8つの動きが組み合わされており、中にはつま先で「JOSO(常総)」の文字を書くユニークな動きもある。

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

体操で使われる曲「JOSO☆ハッピー」は、東京都のNPO法人が作曲を

話し相手と脳波が同調 自閉症の治療に役立っている

人と人がコミュニケーションを取る際、互いの脳波のリズムが次第に同調していくことを、川崎真弘助教(シス情系)らの研究グループが明らかにした。

今回の結果の原因究明が互いにアルファベットの読み、自閉症などのコミュニケーション障害の診断・治療や、ロボットと人

今回の結果の原因究明が互いにアルファベットの読み、自閉症などのコミュニケーション障害の診断・治療や、ロボットと人

商店街に「健康サロン」 イベントも開催へ

茨城県行方市と本学が連携し、高齢者の健康づくりと商業活性化を目的とした期間限定の「健康サロン」を玉造中商店街(同市)に開設した。

同市では65才以上が人口の4分の1以上を占めており、医療費の増大などの問題が起きている。この状況を逆手に取り、健康づくりを全面に押し出すことで、商店街に高齢者を呼び込

同市では65才以上が人口の4分の1以上を占めており、医療費の増大などの問題が起きている。この状況を逆手に取り、健康づくりを全面に押し出すことで、商店街に高齢者を呼び込

五十嵐教授がデザイン 葉脈で環境に優しいイメージを



葉脈をイメージしてデザインされたタクシー

エコタクシー
今春から県内の大貫根タクシー株式会社(つくば市)の2社が使用を始めたプラグインハイブリッド車(PHV)のデザインを宮野菜さん(平成24年度芸術専門学群卒)が考案。五十嵐浩也教授(芸術系)が監修した。完成したデザインは白い車体に葉の葉脈の柄が施されたもの。このデザインは、今後、PHVだけでなく電気自動車やハイブリッド車など、県内のタクシー会社で導入されるエコタクシーすべてに施される予定だ。今回導入されたPHVは、短距離の場合は電気を、長距離の場合は電気とガソリンを併用することで、二酸化炭素の排出を抑え、かつ長距離走行ができる。そのため、電気自動車やハイブリッド車などと並び、環境に優しい車として期待されている。

第29回 つくば芸術祭 春のつくばを彩る



ジャズ研究会による演奏

多様な演出で観客を魅了

本学の芸術・文化系サークルが日ごろの成果を披露するイベント「つくば芸術祭」(主催=芸術系サークル連合会)が5月3〜5日、つくばセンター周辺地区(つくば市吾妻)で開催された。29回目となる今回は「君と、私と、心と魂」をテーマに、19の団体が楽器の演奏や作品の展示などを行った。

ジャズ研究会による演奏は、東京から訪れた男性は「ジャズは今後ののんびりとした雰囲気合っている。屋外でジャズが聞けたのが良かった」と満足気に語った。アルスホールで3日に行われたのは、マジシャン

創造的復興プロジェクト
芸術を通して震災の復興支援を行う「筑波大学創造的復興プロジェクト」の活動報告展が、3月25日から5月19日にかけて、茨城県近代美術館アートフォーラム(茨城県水戸市)で開かれた。

芸術を通して復興支援 作品で思い表す

同プロジェクトは芸術専門学群が開設する授業の一環として、震災後に被災地を訪れ、現地の子どもたちとおもちゃ作りや祭りの開催などを行った。会場には活動内容について書かれたパネルや、活動

後に学生らが制作した作品が展示された。中には、震災当時の写真が映し出されたスクリーンの前に人が立つと、影になった部分の女性が震災から2年後の風景に変わるといった展示もあり、復興の様子が視覚的に分かるようになっていた。

水戸市内から訪れた男性は「復興という衣食住の提供が優先されがちだが、芸術を通して心のケアも必要だ」と話した。

また4月29日には、同プロジェクトに関わる田島直樹准教授(芸術系)が同館で、家族でオリジナルTシャツを作るワークショップ「家族でLet's Tシャツ」を開いた。これは「震災をきっかけに家族

の絆を見直そう」という趣旨で企画されたもので、県内から6組の家族が参加した。版画を使い、家族で我が家のシンボルマークをデザインし、Tシャツにプリント。一家でおそろいのTシャツを着て記念撮影をし、会場は笑顔に包まれた。

要だ」と話した。また4月29日には、同プロジェクトに関わる田島直樹准教授(芸術系)が同館で、家族でオリジナルTシャツを作るワークショップ「家族でLet's Tシャツ」を開いた。これは「震災をきっかけに家族

新TWINS 科目区分設定に疑問の声

「成績確定後に変更できる」
4月から全面更新された本学の情報システムの一つ「TWINS」では、▽一般のネットからもアクセスできるようにした▽これまで大学に出向いて行っていた住所登録が、ネットで行えるようになった▽英語版が追加された...など、学生の要望を受け、改善された点も多い。

だが、古いシステムとは異なる科目区分の設定方法についても学生らから疑問の声が寄せられている。昨年度までは科目区分を履修登録時に学生が自ら設定していたが、新TWINSでは履修登録を行うと科目区分が自動的に設定される機能が追加された。だが

この際、本来学生が求めている科目区分に割り振られてしまうケースがあるという。これについて、TWINS等運用委員会委員長(歳森敦教授(図情メ系))は「成績確定後には、これまでと同様に学生自らが科目区分を変更できる」としている。

◆科目区分II本学で必要な単位を「専門科目」「基礎科目」などに分類した。各区分では履修が必要な科目や単位数が決まっており、その通りに単位を修得して卒業できる。

赤平特命教授は「統計の高次漸近理論の研究」が評価され科学技術賞(研究部門)を受賞。二瓶准教授は「多重外場応答性金属多核錯体の創出と機能発現に関する研究」、松本教授は「脳の報酬機能を支えるドーパミン神経システムの研究」について若手科学者賞を受賞した。

文部科学大臣表彰式
松本教授ら3人が受賞
平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰式が4月16日に、文部科学省講堂(東京都千代田区)で行われた。本学からの受賞者は

赤平昌文特命教授、二瓶雅之准教授(数物系)、松本正幸教授(医学医療系)の3人。科学技術分野の文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発などで顕著な成果を収めた人の功績をたたえるもの。研究者の意欲向上を図り、日本の科学技術を発展させることが目的だ。

たう、一瞬もためらわないうで、「はい」と答えます。例えば、言うまでもないと思うが、発展途上国から来た私にとっては先進国の日本の生活はとて豊かで便利です。コンビニはどこにでもあ

てそして24時間も営業しているおかげで真夜中でも買い物したり人気を感じたりできて、眠らない夜のシティライフを体験しました。また、食べ物や和食だけでなく、インド、フランス、韓国、中国、ドイツなど世界中の国や地方から集まってくる料理もあるのでさまざまな食生活を楽しんでいます。物価が高くて大変ですが、バイトも簡単に見つかるし、日常生活である程度節約すれば大体日本の生活を楽しく過ごせると思います。

人たちが一緒に暮らすところに自分の居場所が無い、自分のことを分かってくれないという思いがいつも心に浮かんでいきます。自分の思いをちゃんと伝えられない、そして相手の思いも理解できない。日本語が邪魔になってしまっている感じがして、自分なりに思っています。何か言いたくても言えず、よく黙ってしまいます。それでも、元々明るく冗談が大好きな私はいつの間にか口が重くなり始めてしまいました。

でも、これからもっと日本語の勉強を頑張るし、かあります。友達に期待に心をよせよう、頑張ります！(社会学類・原文も日本語IIベトナム出身)

日本語で思い伝えたい
「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。

「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。



「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。

「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。

「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。

「日本の生活を楽しんでいますか?」と聞かれました。



展示に見入る来場者

劇団サークル「SONICBOOM」 40分の一人芝居 独特の世界観見せる

劇団サークル「SONICBOOM」の第91回春公演「あのね」が5月5〜6日に1E棟102で行われた。今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。

今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。今回の公演は三宅映未さん(芸専2年)の一人芝居。

投稿募集
本紙では皆さまからの意見・反対鏡などの投稿を募集しています。TEL 0296-853-6909 e-mail shihun@un.tsukuba.ac.jp

自転車の海つくばで



グ導入に肯定的な意見が目立った。一方、金銭面の負担がかりだという意見や、登録開始日時など詳細が決まっていないことを非難する意見もあった。

また、学生自身の駐輪マナーの順守状況に関しては、「守っている、守ろうとしている」という学生が多かった。一方で、「授業時間に間に合わせるため、駐輪場に空きがなく止める場所が分からない」とも



自転車の迷惑駐輪が後を絶たない3A棟前

このような状況の中でも、自転車盗難に役立つことへの期待などからICTが

「仕方なくマナー違反」の声も

大学への自転車環境改善のための要望として「学内の駐輪場マップを作る」というものや、「放置自転車の撤去を進める」、「不適切な駐輪への対策を取る」など実際の対応を求める意見もある。また、「道幅を広げるなどの整備が必要」、「駐輪場を増やすべきだ」、「歩車分離を徹底する」などの設備面に対する意見も出た。

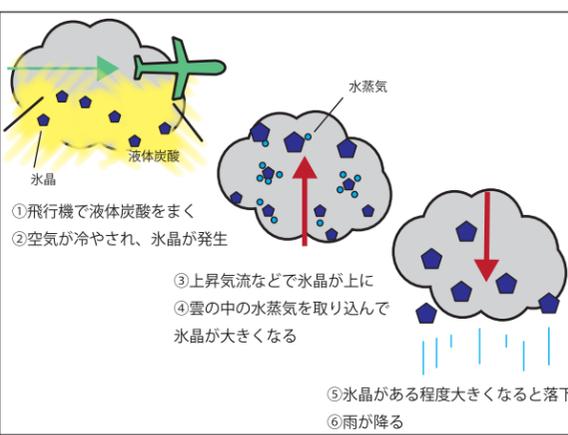
HELLO! 先端科学

雨乞いなどの風習が昔から世界中であるように、天気を自由に操ることは人間の一つの夢だ。現在は「人工降雨」という技術を使って、雨をある程度、人間の意志で降らせることができる。真木元客員教授(九州大学客員教授)もその研究者の一人だ。

人工降雨 2時間で100万トンの降雨 「天気を操る」夢に近づく

雨乞いなどの風習が昔から世界中であるように、天気を自由に操ることは人間の一つの夢だ。現在は「人工降雨」という技術を使って、雨をある程度、人間の意志で降らせることができる。真木元客員教授(九州大学客員教授)もその研究者の一人だ。

真木元客員教授は、液体の二酸化炭素である液体炭酸を使って、氷晶を発生させる方法を研究している。まず、約マイナス90度の液体炭酸を、飛行機で雲の内部の下の方にまく。するとすぐに気体になり、周りの空気を冷やす。これにより雲の内部の水蒸気が凍って氷晶が発生する。発生した氷晶は雲の内部



人工降雨の仕組み

①飛行機で液体炭酸をまく
②空気が冷やされ、氷晶が発生
③上昇気流などで氷晶が上に
④雲の中の水蒸気を取り込んで氷晶が大きくなる
⑤氷晶がある程度大きくなると落下
⑥雨が降る

いろいろな分野の知識を



韓国高等光技術研究所 イ・キョンミンさん

留學生の後輩から原稿の依頼が来た時、外国人の主に日本人学生向けの新聞に文章を書いてもらうのかと心配だった。しかし、留学生というカテゴリより筑波大出身先輩として、そして人の少し先立った人として

視点 開始までに十分な周知を

開学以来本学を悩ませてきた自転車問題に、一つの区切りが付く。「自転車海」にICTタグを打ち込むことは、全国の大学でも始めての試みだ。

「T∞」スタッフ募集

筑波大学に関係のある著名人8人を招いて行う講演会「T∞」を私たちと一緒に作り上げませんか?

問い合わせ=brast.tsukuba@gmail.com(代表 中村)
詳細=http://www.brast-tsukuba.com

筑波自然図鑑



撮影地=筑波実験植物園

て、現役の筑波大生へ一言言いたく、依頼を受け入れた。私は国費留学生として2005年に自然学類に入学し、2009年に卒業と共に同大学院に入った。そして東北地方地震の余波で慌ただしかった2011年春に修士学位を取得し、韓国に帰国した。現在は国立の研究機関である高等光技術研究所で研究員として、兵役の義務を果たしている。20代の半分を占めた日本の生活は私にとって、忘れられない思い出。これから進んで行きたい道への土台になったと思う。

最初入学してからは同期の学生たちとは言葉の問題や文化の違いで、あまり人と付き合うことができなかった。サークル活動などもトライはしたが、すぐ辞めてしまった。しかしそれが寂しいとか問題があると思わなかったのは、自分が興味を持つ分野の知識を自由に学べる楽しさが大学にはあったからだ。約2年間はこのように学ぶことはなかった。

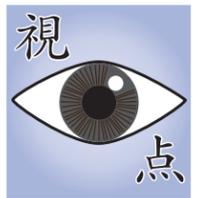
スポーツ体罰問題

大学教育の変革を

女子柔道ナショナルチームでの体罰問題を機に、暴力を廃し、科学に立脚したスポーツ指導の在り方を探ろうと、文部科学省は4月「スポーツ指導者の資質向上のための有識者会議」を発足させた。会議は大学教員や専門家などの委員6人で構成。6月下旬に報告書をまとめる。委員の一人・尾縣貢教授(体育系)に議論の行方や、指導者の資質向上の方策などを聞いた。体罰問題を機に、スポーツ界は「意識変革」が求められている。(中島佳奈II人文学類3年)



体罰問題について話す尾縣教授



同教授によると会議では「指導現場にはいまだに、体罰を『指導の道具』と誤解している指導者が存在する」との指摘があった。「暴力を振るう(恐怖感から)選手が集中できる」という考えだが、同教授は「科学的な指導や論理的な説明だけで、十分効果的な指導ができる」と主張。暴力による指導を強く否定した。

「自由に意見言える雰囲気」

この上で同教授は指導者には、選手と外刈を掛け、技ありを取って優勝勝ち。だが続く準決勝では吉田優也(旭化成)に開始1分で体落しを掛けられ、一本負けした。遠藤は一回戦、得意の背負い投げで有効を取り、準決勝で浅見八幡奈(コマツ)と対戦。両者に指導が一つずつ与えられた状態で残り17秒となるが、浅見の外刈が奇麗に決まり、一本を取られた。

「コミュニケーション能力の他、組織のマネジメント能力を磨く必要がある」と指摘。コミュニケーション能力については「指導者が選手にうまく説明できない場合(も)どかしくなった指導者が暴力に走る可能性がある」とその重要性を話した。

要、と指摘した。一方、同教授によると会議では「大学教育がスポーツ指導者の育成に大きな影響力を持っている」という意見も出た。例えば本学の体育専門学群では「指導者倫理」を学び、体罰の問題点なども議論しており、これは学生の意識形成に大きな影響を与える。同教授は「全国の大学での指導者教育カリキュラムを見直す必要がある」と話す。一方、一般の人が指導するケースが多いスポーツ少年団などでは、「指導者が容易に指導法などを受講できるシステムが必要」とも述べた。

首都大学野球春季リーグ 順調に勝ち点重ねる 山田・宮谷が好投

野球

首都大学野球春季リーグ戦が、4月13日から平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われている。「守りの野球」をスローガンに掲げ、山田和也(体専4年)や松浦昌平(同4年)ら昨年の



城西大との開幕試合で力投する山田

を挙げられずに0-2で敗戦した。2回戦では、川村卓監督(体育系・准教授)が山田と並ぶ2枚看板と期待を寄せた宮谷陽介(同4年)が好投を見た。4回戦では、板崎直人(同2年)の機飛で先制。宮谷は8回に失点するも、打線はその裏で追加点を挙げ、2-1で勝利した。3回戦では山田が完封し、4-0で快勝。勝ち点を挙げた。

続く帝京大戦の1回戦では、2回に國井伸二朗(同2年)の本塁打で先制し、3回にも2点を追加する。先発の山田もすきをみせず、2試合連続で完封し、3-0で勝利。2回戦も宮谷が粘りの投球で、接戦を制した。

0で完封勝利した。続く2回戦では、4回に山田が3点を失うが、その後木部拓実(同1年)や宮谷らの中継ぎ陣が相手打線を0点に封じ込めた。同点で迎えた9回、松浦が適時三塁打を放つと、4-3で勝利。勝ち点を得た。

赤崎が鹿島に加入

サッカー

蹴球部に所属する赤崎秀平(体専4年)のJリーグの来季加入内定が4月12日に発表された。また、17日には日本サッカー協会から特別指定選手として承認され、同部に所属したままJリーグの公式戦への出場が可能となった。鹿島が特別指定選手を受け入れるのは初のケース。

赤崎は昨年、関東大学サッカー部リーグの21試合で17ゴールを決め、自身2度目の得点王を獲得。その得点力の高さが評価され、複数のJチームからオファーを受けていた。

全日本選抜体重別選手権大会

西山が準優勝果たす

柔道



来年の世界選手権に焦点

全日本選抜柔道体重別選手権大会が5月11-12日に福岡国際センター(福岡市博多区)で開催された。本学からは4人が出場し、73kg級で西山雄希(体専4年)が準優勝、90kg級で近藤拓也(同4年)、48kg級で遠藤宏美(同3年)がそれぞれ3位に入賞した。またOGの緒方亜香里(平成24年度体育専門学群卒・了徳寺学園)も78kg級で準優勝を果たした。同大会は今夏のリオデジャネイ

ロ世界選手権の代表選考を兼ねており、選手たちが代表権を争った。西山は一回戦、大東匡彦(旭化成)を相手に小外刈で有効を取り、優勢勝ち。準決勝でも大野将平(天理大)が指導を受けたため、優勝勝ちを収めた。決勝ではロンドン五輪代表の中矢力(ALSOK)と対戦。西山は試合運びに苦戦し、残り一分半のところで寝技固めで抑えられると、逃げ切れずに一本を取られた。近藤は一回戦で西山将士(新日鉄住金)を相手に小

外刈を掛け、技ありを取って優勝勝ち。だが続く準決勝では吉田優也(旭化成)に開始1分で体落しを掛けられ、一本負けした。遠藤は一回戦、得意の背負い投げで有効を取り、準決勝で浅見八幡奈(コマツ)と対戦。両者に指導が一つずつ与えられた状態で残り17秒となるが、浅見の外刈が奇麗に決まり、一本を取られた。

た。だが決勝戦では佐藤瑠香(コマツ)に押され、残り30秒に横四方固めで抑えられて、一本を取られた。増地克之監督(体育系・准教授)は「結果は選手によってさまざまだったが、特に遠藤と西山は次につながる」と抱負を語った。

アジア柔道選手権大会

遠藤が小内刈で優勝

アジア柔道選手権大会が4月19-20日にタイのバンコクで開催され、48kg級で遠藤宏美(体専3年)が優勝、100kg級でシャール・フセインシャール(同2年)が3位に輝いた。

未来の「なでしこ」目指す 森岡名誉教授が校長

小美玉フットボールアカデミー

女子中学生を対象としたサッカー選手育成スクール「小美玉フットボールアカデミー」が4月7日、茨城県小美玉市に開校した。県内外から集まった1期生13人は、寮の隣にある中学校に通いながらアカデミー

でトレーニングを積み、未来の「なでしこジャパン」を目指す。アカデミーは、女子中学生を対象としたクラブチームが全国的に少ないことを受け、女子中学生がサッカーに集中できる環境を整える目的で設立された。同様の育成組織には、福島県と大阪府のJFA(日本サッカー協会)アカデミーがあるが、民間の組織としては全国で初めてだといふ。



本学で指導を受けるアカデミーの選手たち

また、本学の森岡理右名准教授が校長を務め、谷川聡准教授(体育系)が走り方の指導を行うなど、本学関係者も選手育成に関わっている。サッカーの技術指導だけでなく、生活面のサポートマスターの松下潤さん(平成14年度体育専門学群卒)は「寮制ではない)他のクラブチームでは、指導者は練習中にしか選手と関わることができないが、(同アカデミーでは)食事や掃除など日々の生活まで指導を徹底できる」アピール。また、「全国大会に出場して勝ち上がることも、個人の力を伸ばすことを意識している」として、「個の育成」も目標に掲げている。

茨城県笠間市出身の志村悠さんは「あこがれの選手は(男子サッカーの)宮市亮選手。まずは、チームメイトの個性をよく理解し、互いに高め合って、成長していきたい」と目を輝かせた。

第14回東日本大学セブンズ選手権大会 本学優勝、2連覇達成



相手を振り切りトライを狙う山沢

期待の新星・山沢も活躍

ラグビー

第14回東日本大学セブンズ選手権大会が4月21日に秩父宮ラグビー場(東京都港区)で行われ、本学が優勝。2連覇を果たした。

正大相手に45-5と大差を付けて勝利した。続く準決勝では流通経済大と対戦。これまでも圧倒的な強さで勝ち上がった本学だが、相手のマークと力強い攻撃に苦戦した。しかし最後は本学が粘り、10-7で勝利。決勝戦の相手は明治大。決勝戦の相手は明治大。強豪相手に圧倒し、前半を

男子 6連勝もその後苦戦 女子 流れつかめず



バレー

春季関東大学リーグ戦が4月13日から19日にかけて早稲田大学戸山キャンパス記念会館(東京都新宿区)などで開催された。5月12日時点で、男子は6勝3敗で5位、女子は3勝4敗で6位という順位になった。

男子は、1回戦で法政大と対戦。第1セットを25-20で勝ち取るも、その後はシーソーゲームが続ぎ、第5セットまで突入した。互いに譲らない展開が続いたが、終盤の連続得点が決め手となって、3-2で勝利した。その後2回戦目の相手、東京学芸大を3-0で下すと、勢いに乗った本学は6連勝。

しかし7日目に迎えた順天堂大戦では、果敢に攻撃するも相手のブロックに阻まれ、苦戦を強いられる。第1セットを先取るも、第2、4セットを次々と奪われ、1-3で敗北。続く慶應義塾大戦、早稲田大戦でも相手の勢いに押され、

関東大学春季大会 明治大に快勝

第2回関東大学春季大会が4月28日に開幕し、本学ラグビー場で行われた初戦の明治大戦では、本学が45-0で圧勝した。

開始直後から積極的に攻め込んだ本学は、前半6分、村川浩喜(体専4年)が先制トライを奪った。その後も23分、32分にそれぞれトライを決め、相手に攻撃のすきを与えないまま前半を21-0で折り返す。

後半7分、見事なパスプレーの末、高橋謙介(同4年)が走り込みトライ。10分にもトライを決めたが、その後は攻められる場面が多くなる。しかし、ライン前まで押されても焦らずボールを奪い続け、今試合で合計7トライを決めた。副将の下釜優次(同4年)は、「相手を0点に抑えることができて良かった」と振り返った。古川拓生監督

諸貫が2位の好成績 日本代表にも選出される

第89回日本選手権水泳競技大会が4月11-14日にダイエープロビスフェニックスプール(新潟県長岡市)で行われた。



水泳競技

男子の部では、坂野栄信(体専4年)が50メートル背泳ぎで2位の好成績を挙げ、日本代表にも選出される。また、小林明日香(同3年)が100メートル背泳ぎで2位の好成績を挙げ、日本代表にも選出される。

本学生が中心で運営

第3回筑波大学国際テニストーナメント

第3回筑波大学国際テニストーナメントが、3月30日から4月7日にかけて体芸テニスコートで開催され、国内外から64人が出場した。

つくばスポーツ大賞2012 ラグビー部がグランプリに 強豪を破る活躍が評価

昨年にスポーツの分野で活躍したつくば市内の団体や個人を表彰する「つくばスポーツ大賞2012」(主催 Vision ネット)の表彰式が4月7日、ラグビー部(つくば)で開かれ、例年私立大が上位を占める大学ラグビーに本学ラグビー部が大賞を受賞した。

同部は昨年秋以降に行われた関東大学対抗戦で、強豪校の帝京大と早稲田大、慶應義塾大を撃破し、創部以来初となる対抗戦優勝を果たした。また、対抗戦で上位の大学が出場できる大学選手権では、国立大で初めて決勝進出を果たした。決勝の相手は史上初の4連覇を目指す帝京大。本学は健闘するも敗れ準優勝に終わったが、例年私立大が上位を占める大学ラグビーに本学ラグビー部が大賞を受賞した。

顔

エクササイズとして認知されているエアロビクス。だがその「競技版」であるエアロビックスの存在は意外と知られていない。その日本の第一人者が諏訪部和也(体科1年)だ。2009年から全日本選手権で3連覇し、引退後は指導者としてエアロビクスに関わっている。

エアロビクスは観客の前で、軽快な音楽に合わせてステップを踏みながら、開脚やジャンプ、回転をする。柔軟性やバランス感覚、リズム感だけでなく、瞬発力や持久力も求められる。だが、日本ではスポーツとして認知度が低く、練習環境や選手への援助体制も乏しい。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。

自分育てたスポーツに恩返し

バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。自分育てたスポーツに恩返し。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。

エアロビクスは観客の前で、軽快な音楽に合わせてステップを踏みながら、開脚やジャンプ、回転をする。柔軟性やバランス感覚、リズム感だけでなく、瞬発力や持久力も求められる。だが、日本ではスポーツとして認知度が低く、練習環境や選手への援助体制も乏しい。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。



諏訪部和也(体科1年)

諏訪部和也(体科1年)は、エアロビクス界の未来を担う。現在は大学教員を目指しているが、研究センターの生活を送る傍らで、霞ヶ浦総合公園(茨城県土浦市)などで子供たちにエアロビクス指導を行っている。(写真：子供と柔軟体操を行う)「エアロビクスは(自分を)育ててくれたスポーツ。恩返しをしたい。」

エアロビクスは観客の前で、軽快な音楽に合わせてステップを踏みながら、開脚やジャンプ、回転をする。柔軟性やバランス感覚、リズム感だけでなく、瞬発力や持久力も求められる。だが、日本ではスポーツとして認知度が低く、練習環境や選手への援助体制も乏しい。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。

エアロビクスは観客の前で、軽快な音楽に合わせてステップを踏みながら、開脚やジャンプ、回転をする。柔軟性やバランス感覚、リズム感だけでなく、瞬発力や持久力も求められる。だが、日本ではスポーツとして認知度が低く、練習環境や選手への援助体制も乏しい。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。

エアロビクスは観客の前で、軽快な音楽に合わせてステップを踏みながら、開脚やジャンプ、回転をする。柔軟性やバランス感覚、リズム感だけでなく、瞬発力や持久力も求められる。だが、日本ではスポーツとして認知度が低く、練習環境や選手への援助体制も乏しい。バレーを習っていたが、また一般の普及を促す必要がある。



サンフランシスコ州立大学

(アメリカ)

佐々木誠

昨年の8月から、カリフォルニア州立大学群の一つ、サンフランシスコ州立大学に交換留学しています。

僕は今まで典型的な日本文化の中で育ってきました。日本にいたころは基本的に空気を読み、相手を不快にさせることほ言わず、自分の考えを強く主張することは少ない

方だったと思います。このため、留学生活の前半は、あまり社交的になることができず、勉強中心の生活を送っていました。



ニューヨークで友人と(左が佐々木さん)

国民の考え方がオブラートに包まれることなく融合したからこそ、アメリカは世界で一番影響力のある国になったのだと思います。

しかし、アメリカ人の友達はそのような僕の性格を指摘した上で、「アメリカでは積極的に自分を主張しないと誰も助けてくれない。自分が思っていることを隠さず、言った方がよい。自分を主張すれば皆が受け入れてくれる」と、日本人にはなかなか無い鋭い口調で単刀直入に教えてくれました。このアドバイスのおかげで、僕は勉強だけではなく充実した生活を送っています。最近では

こういった日本とアメリカの文化や考え方の違いについて興味を持つようになりまし。多くの国民が異なる文化を背景に、多様な考え

それぞれの国の良さを知る

かるた作りで親睦深める

Tsukuba for 3.11

福島県からの避難民と交流



共にかるたの案を出す本学生と参加者

福島県からつくば市に避難している人たちがかるたイベント「みんなで作る

う！つくば春カルタ」が4月20日、研究学園駅前公園内の「つくばスタイル館」(つくば市葛城根崎)で行われた。震災の影響で福島県からつくば市に避難している人は約500人いるが、つくば市民と交流する機会が少ないのが現状。そこで、市民と避難民が親睦を深める場を設けようと、本学で震災の被災者支援などを行う団体「Tsukuba for 3.11」が同イベントを主催した。今年度は、かるた作りのイベントが計4回行われる予定で、今回はかるたの内容を決め、次回はかるたの読み札を作り、3、4回目は取り札作りなどをする。

はじめに、福島県とつくば市それぞれの季節の風物詩をテーマとして、かるたの内容について参加者が意見を交換した。春は山菜、たけのこ、夏は阿武隈(山地)の新緑、「野馬追」(馬を放して捕まえる祭り)、「秋は鮭の川上り」

「冬はなるま市」……。福島県の四季折々の風景を想像させるような言葉が、会場にあちこちから聞こえてきた。

かるたの案を一通り出し終えたところで、参加者全員で昼食の準備に取り掛かった。おにぎりやお吸い物が出来上がると、テーブルを囲んで会食。和やかな雰囲気の中、参加者同士の会話が弾んだ。

イベントの最後には、本学の長谷川聖修教授(体育系)が考案したという

「なかよし体操」を実践。互いに肩をたたき合った

り、ハイタッチをしたりと、参加者らは笑顔で体を動かした。

福島県双葉町から避難している古山美奈子さんは「かるたの内容について話しながら、地元のことをありありと思い出すことができた。懐かしい気持ちになった。とても楽しい時間を過ごせた」と感想を話した。

イベント責任者の加藤早織さん(生資2年)は「避難生活を送る人たちに、つくばのことを思い出してほしい」と心配していたが、今後より多くの人にイベントに参加してほしいと話した。

この参考書には同名教授が開発した「島岡式カタカナ表記(SKT)」が使

最先端の科学を紹介

クイズや実験で楽しく学ぶ

地域の子供たちに最先端の科学を紹介するイベント「ギンズ・ユニバーシティ」が4月20日、総合研究棟Aなどで行われた。多くの親子連れが本学を訪れ、科学的な考え方を学び、科学的な世界に目を輝かせた。

参加者に本学の講義を分かりやすく行う特別授業「どうなる? どうする? 地球温暖化」では、山中勲准教授(生環系)が地球温暖化について解説。「100年間で地球の温度は何度上がったか」「地球温暖化の原因は何か」といったクイズを交えながら授業が進められた。

総合研究棟A 107、108で行われたのは、実験などを行う企画の一つ「生物ひろば」。会場には、福島県とつくば市それぞれの季節の風物詩をテーマとして、かるたの内容について参加者が意見を交換した。春は山菜、たけのこ、夏は阿武隈(山地)の新緑、「野馬追」(馬を放して捕まえる祭り)、「秋は鮭の川上り」

「冬はなるま市」……。福島県の四季折々の風景を想像させるような言葉が、会場にあちこちから聞こえてきた。

かるたの案を一通り出し終えたところで、参加者全員で昼食の準備に取り掛かった。おにぎりやお吸い物が出来上がると、テーブルを囲んで会食。和やかな雰囲気の中、参加者同士の会話が弾んだ。

イベントの最後には、本学の長谷川聖修教授(体育系)が考案したという

「なかよし体操」を実践。互いに肩をたたき合った

り、ハイタッチをしたりと、参加者らは笑顔で体を動かした。

福島県双葉町から避難している古山美奈子さんは「かるたの内容について話しながら、地元のことをありありと思い出すことができた。懐かしい気持ちになった。とても楽しい時間を過ごせた」と感想を話した。

イベント責任者の加藤早織さん(生資2年)は「避難生活を送る人たちに、つくばのことを思い出してほしい」と心配していたが、今後より多くの人にイベントに参加してほしいと話した。

この参考書には同名教授が開発した「島岡式カタカナ表記(SKT)」が使

た水槽が設置され、参加者



生き物と触れ合う子供

は生き物を眺めたり、触ったりして歓声を上げた。土浦市から訪れた女性は「子供が生き物と触れ合えて、良い機会だった」と語った。実験コーナーでは、ゴボウシヤガイモなどの野菜

にヨウ素液を塗り、変色する様子を観察。子供たちは白衣を着て、科学者気分を味わった。つくば市の小学6年生の女子は「大学生が教えてくれて、実験が楽しくてきた」と語った。

総合研究棟A111では「面白い不思議科学実験工作隊」という企画が行われ、小林正准教授(数物系)が多くの実験器具や科学のおもちゃを紹介。静電気発生装置や液化窒素など研究の現場で使われるものから、竹とんぼなど身近なものまで並べられ、参加者は自由に見たり触れたりした。

小林准教授は「子供たちは興味津々の様子だった。扱い方の難しい実験器具を用意するのも良いが、簡単なおもちゃも用意することで、科学をより楽しんでもらえたい」と話した。(12面に関連写真)

日本語で覚えるネイティブの英語発音

3週間で綺麗な発音に

独自の表記を記載

日本語で覚えるネイティブの英語発音

3週間であなたの英語が見違える瞬間メソッド

島岡 丘 島岡 良衣

日本語を活用して自然な英語の発音をマスターする画期的メソッド

島岡名譽教授が監修した本

われている。これは、英語の発音をカタカナで表記したもので、カタカナをそのまま読めば、自然な英語が発音できるというもの。例えば「Canada」という単語には「ケアナダ」というカタカナが書かれている。発音の強弱はカタカナの文字の太さや大きさを区別されており、アクセントもマスターできる。1日あたり6〜8個の単語を3週間練習するだけで、母音と子音全ての発音や、簡単な日常会話の発音が分かるようになる。

同名教授は「この参考書を使えば誰でも自然な発音がマスターできる。どんなに英語が苦手な人でも自信を持って英語を話せるようになってほしい」と語った。

第6回筑波学生文芸賞

第6回筑波学生文芸賞の作品募集が、4月1日から6月30日(日)まで行われている。募集しているのは400字詰め原稿用紙換算で20枚以内のペリシヨート部門と、21〜80枚の一般部門。ペリシヨート部門ではペリシヨート賞1〜3作品、一般部門では大賞1作品と佳作2作品程度が選ばれる。また同期間中には第2回フォトコンテストの写真も募集している。テーマは「日常×穴」で、大賞に選ばれた写真は第6号冊子の表紙に使用される。応募・問い合わせは dward@gmail.com 詳細は <http://dward.com/> (主催)筑波学生文芸賞運営委員会

ドイツデー

筑波大学ドイツデーが5月29日(水)に開催される。当日は12時30分から1C棟310でウィム・ヴェンダース監督のドイツ映画「ベルリンの天使の歌」を上映。また、15時から1D棟204で「大学の国際交流とドイツ体験」「ドイツでの留学」をテーマとした講演会が行われる。18時からはスプリアクトリーでパーティーを開催。パーティーの参加費は学生500円、教員3000円。問い合わせは内線4171(武井隆道教授) 人社系、内線2429(マリア・ガブリエラ・シュミット准教授) 外国語センター

アメリカ型福祉国家の形成

1935年社会保障法とニューディール

筑波大学出版会

1935年、大恐慌で失業者があふれるアメリカで、社会保障法が成立した。伝統的に自助や個人主義が重んじられてきたアメリカで、なぜこの時期に社会保障制度が誕生したのだろうか。またそれは、どのような保障を国民に与えたのだろうか。本書は、フランクリン・D・ローズヴェルト大統領が行ったニューディール政策の一環として制定された社会保障法を様々な角度から検討し、アメリカ型の福祉国家の起源を明らかにする。執筆者は本学人文学部社会学系准教授。A5判並製、約250頁、6月中旬刊行予定、3200円+税。

Creating the Welfare State in the United States

How Security Was Built and the State Took

アメリカ型福祉国家の形成

1935年社会保障法とニューディール

佐藤千登勢 (Chisato Sato)

筑波大学出版会

文芸系准教授。A5判並製、約250頁、6月中旬刊行予定、3200円+税。

Good Job 2013 ~夢のお仕事体験場~ 子供たちの職業体験イベント開催



消防活動を体験する子供

夢の職業に目を輝かせる

子供たちが職業体験をするイベント「Good Job 2013」が、5月11日(土)に中央公園(つくば市)で開催された。約2000人の子供が参加した。

同日に行われた「つくばフェスティバル」の企画の一つで、約2000人の子供が訪れた。イベントは、子供たちに働くことの楽しさを伝えることを目的として、本学を主とした実行委員会が運営している。今年も「子どもたちに夢と元気を」と、本学のサークルや市の企業が19のブースを設置した。子供たちは郵便局員や新聞記者などとして働き、それによって得た疑似通貨「ジョブマネー」を使って、おもちゃや駄菓子などを購入したり、ゲームを楽しんだ。特に人気だった職業は警察官の職業体験。逃走した犯人を捕まえる場面では、警察官の帽子を被った子供たちが全力で走り回った。つくば市内から訪れた小学3年生の男子は、「本物の警察官みたいで楽しかった」と笑顔で語った。

急性アルコール中毒多発 未成年の飲酒も発覚 モラルの無さ浮き彫りに

4月20日に起きたケースでは、課外活動団体の集會中、未成年の学生が飲酒中、急性アルコール中毒になり、病院へ搬送された。学生には所属学類長から厳重注意が行われ、団体は一定期間の活動自粛となった。未成年飲酒やイッキ飲みなどは社会的問題となっており、昨年には、小樽商科大学や慶應義塾大学などで飲酒による学生の死亡事故が発生。本学でも過去に不適切な飲酒により学生が死亡した事故がある。本学では2007年ごろから新生入生対象のフレックシブマン・セミナーなどで飲酒について注意喚起を始めてきた。急激なアルコール中毒になり、病院へ搬送されるケースが相次いでいる。4月だけで3件発生し、うち2件が未成年の飲酒によるものだった。大学側が飲酒について注意を呼びかける一方、状況には改善が見られず、飲酒に対する本学生のモラルの欠如が浮き彫りとなった。

つくばセンターに大型ビル 新たなつくば市の顔に

つくば市は4月12日、つくばエキスポプレスクまのバスターミナル隣接地に建設予定の「つくばターミナルビル」について設計や施設整備を担当する事業者の募集要項を発表した。つくばターミナルビルは「つくばの顔」として市の玄関口に新たなにぎわいと交流をもたらし複合施設になることを目標として建設される。6月31-28日にかけて募集を受け付け、9月に事業者を決定。来年4月に着工し、平成26年度中に完成させる計画だ。完成した施設にはつくば市の総合インフォメーションセンターやバス発券所、市内の研究機関の展示スペースなどが設置される予定。

5月24-25日に開催 第39回やどかり祭

第39回やどかり祭(宿舍祭)が5月24(金)-25(土)に開催される。24日に前夜祭、25日に本祭が行われ、会場は平砂共用棟。平砂テニスコートなどとなっている。当日は各団体による模擬店出店、本学の音楽系サークルによる野外ライブも予定されている。実行委員会の企画では、浴衣美女のグランプリを決定する「ゆかたコンテスト」や、男の中の男を競う「漢祭り」各団体の御輿パフォー

丹羽准教授が講演を行う 昆虫研究の意義を説明

生物学類と生命環境科学研究所が主催するバイオカフェが、4月16日に大学会館多目的ホールで開催された。70回目となる今回は「大人になるってなんだろ?」昆虫から学べること」と題して丹羽准教授が講演した。

丹羽准教授は「来場者の反応が良く、特に学生が興味を持って聞いてくれた」と話した。講演では「ハエが成虫になるために必要な「ペパーランド」遺伝子を中心とした研究成果を紹介し、最新のデータも使いながら、分かりやすく解説した。参加者同士が話し合う時間も設けられ「ハエを使っ

た研究はヒトの研究に役立つのか?」などのテーマについてディスカッションした。「ヒトとハエは体の構造が異なるため、ヒトの研究に役立つのは難しいのでは」という意見に対し丹羽准教授は、「IPS細胞開発のきっかけがショウジョウバエの研究にあったことを紹介。『全ての生物は研究に値する』という言葉があるが、昆虫研究はヒトの研究に示唆を与えることも



図を使った説明に聞き入る来場者

マジシャンズクラブ

マジシャンズクラブでは、トランプやスカーフを使った手軽なものからステッキや鉄のリングを使う派手なものまで、さまざまな種類のマジックを練習している。各役員は映像資料や本、雑誌を参考にマジックを研究し、先輩が後輩にテクニックを伝授する。また、

感動を生むサプライズ



リングを使ったマジックを披露する部員

園などでマジックを披露している。「お客さんから拍手をもらう時が一番うれしい」。マジックの

する「ステージマジック」だ。どのマジックも習得には時間と努力が必要だが、ステージマジックで感動を生むサプライズは、マジックの醍醐味だ。部員は「自分たちのマジックに対する誇りや自信を表現したい」と話す。マジックは「タネや仕掛けがあると疑われない純粋な心」をお忘れなく。(平嶋健人 社会学類2年)

Who's Who?

男声合唱団メンネルコールを復活させる 川邊貴英さん (人文3年)



再びそのハーモニーが響くまで、7年の空白があった。1977年の創設後、2003年に一度解散した本学の「男声合唱団メンネルコール」だが、11年に川邊貴英さん(人文3年)

を中心に活動を再開し、再び歴史を刻み始めた。メンネルコールを復活させようとしたのは男声合唱部の部活動を経験した高校時代。推薦入試での合格が分ると、本学OBの先生から「大学でも男声合唱を続けるのか」と聞かれた。男声合唱に熱中していた川邊さんがうなずくとメンネルコールの「十周年記念誌」という小冊子を渡された。その先生はメンネルコールの創設者だった。先生の熱意もあり、「復活に挑戦してみるか」と決意した。2011年に入

団員たちと肩を組む川邊さん(中央)

「十周年記念誌」という小冊子を渡された。その先生はメンネルコールの創設者だった。先生の熱意もあり、「復活に挑戦してみるか」と決意した。2011年に入

復活目指し日々奔走 仲間の支えを実感する

学後メンネルコール復活に向け、待っていたのは苦勞の連続だった。練習やミーティングに使う教室の借り方さえ分からず、最初は学内を自転車で行き回り、使える教室を探した。そんな時に支えてくれたのは、友人やメンネルコールのOBだった。「私には能力が無いけど、周りの人に助けられてうまくできた。同年5月10日に初ミーティングを開いた。約10人が集まり、初ミーティングから約2カ月経った7月5日、復活後第一回目となる練習も行った。翌年11月には「くは市民文化祭」に出演。復活後のステージで力強く歌った。「周りのおかげ」と優しくほほ笑む。

仲間を先導する中で感じたことがある。団員に事務作業を頼んだのは良いが、自分の思う通りにはいかない。「どうしてこんなことができないんだ。自分なら……」と、もどかしくなったこともあったが、すぐに「皆それぞれ考え方も違うから、自分の中の常識にと

次号は

7月16日(火)

発行予定です

編集後記

寒暖の差が激しいつくばの春。私事ですが、編集期間直前まで体調を崩してしまいました。「宿舍風邪」の流行も見え隠れするところ。皆さま体調にはお気をつけて。春の風物詩としてもう一つ、それは自転車の大渋滞。学内は徒歩で移動する私ですが、4月は何度も自転車にひかれそうになりました。2年生キャンプKが先導となっ

第29回つくば芸術祭



写真部の展示に見入る来場者

3面へ

ラグビー関東大学春季大会



相手を抜き去りトライを狙う選手

9面へ

キッズ・ユニバーシティ



白衣を着て実験する子供たち

10面へ

Good Job 2013



新聞記者になりきり、インタビューする子供たち

11面へ

学芸

スポーツ

学生生活

学生生活